

2016年2月9日

## 米国 HfS 社の IT・ビジネスプロセスのオートノミック（自律）化を進める事業者評価レポートで NTT コミュニケーションズが世界第 2 位の評価を獲得

NTT コミュニケーションズ(略称：NTT Com)は、米国 HfS Research(略称：HfS 社)が今回初めて発行する、IT・ビジネスプロセスのオートノミック（自律）化を進める、またオートノミック・コンピューティング<sup>\*1</sup>を積極的に活用する事業者などを対象とし、その先進性などを評価する「HfS Autonomics Premier Table 2016」レポートにおいて、世界第 2 位の評価を獲得しました。

「HfS Autonomics Premier Table 2016」は、IT およびビジネスプロセスにおいてオートノミック（自律）化をけん引すると HfS 社が選定した 22 のサービス事業者を対象に、HfS 社のアナリストとオートノミック関連企業の技術者が、そのビジョン・戦略・導入規模・パートナーシップなどに基づき、各事業者の活用度合いとその先進性をランキングしたものです。

NTT Com は主に以下の特性を通じて 2 位のポジションを獲得しました。

- 業界でも最大規模のオートノミック技術を、自社のグローバルワンストップの ICT マネジメントサービス「Global Management One」プラットフォームに採用
- 自社の対話業務支援サービス「Virtual Assistant」で活用する技術のひとつとして、IPsoft 社の推論エンジンを導入し、NTT メディアインテリジェンス研究所の独自技術などを組み合わせ、日本語化にも対応予定

ランキング全体については以下よりご覧下さい。

<http://www.horsesforsources.com/wp-content/uploads/2015/12/Autonomics-PLT-for-blog-002.jpg>

NTT Com の評価内容の詳細(英語のみ)は以下よりご覧下さい。

[http://www.ntt.com/release/monthNEWS/detail/pdf/20160209\\_2.pdf](http://www.ntt.com/release/monthNEWS/detail/pdf/20160209_2.pdf)



\*1 : Autonomic Computing。自律的なコンピュータシステムの稼働により、処理の高速化などを図る技術やサービス。